

## 自分を信じて

私が大阪大学人間科学部に入学したいと思ったのは、3年生の夏ごろでした。所属していた部活を引退し、夏休みに入り時間ができたので、家の近くの予備校に入れてもらい、大学受験を意識するようになったとき、かねてから興味があった心理学や人間科学を高いレベルで学ぶことができる大阪大学人間科学部に興味を持ちました。その年の夏休みにオープンキャンパスに行き、

展開される講義の幅広さと研究施設の設備、広大なキャンパスに改めて惹かれ、本格的に志望することに決めました。

私が大阪大学人間科学部のAO入試に出願しようと思ったのは6年の5月ごろです。それ以前から母親には勧められていたのですが、英語の検定やTOEIC等のスコアを持っていないことや、小論文や面接などの特殊な入試形態であることや、去年受験された先輩のお話で、かなり大変だったということを聞いたので

AO 入試の出願はあまり考えていませんでした。しかし、AO 入試の出願要項を読むと、英語の検定のスコアや留学経験を持っていなくても、私が高校時代にしてきた復興支援や学園祭運営委員の経験で十分自分をアピールできる、何より、大阪大学人間科学部に入学したいという強い思いは AO 入試に出願するに値すると考え、出願を決めました。

AO 入試の出願、対策は案の定、いや、それ以上に大変でした。出願には、800 字の志望理

由書、活動実績報告書、その他多数の資料が必要でした。その中でも、私が一番作るのに苦労したのが志望理由書です。800字といったら多いように感じるかも知れませんが、書き出してみると、到底収まりそうにもありませんでした。なかなかうまくまとまらない上に、周り是一般入試に向けて本腰を入れ始めたため、このままではAO入試はおろか、一般入試の準備も遅れてしまうのではないかという不安でいっぱいでした。そんなことを感じながら、担任の先

生にサポートしていただき、なんとか800字に収めることができ、11月上旬に出願できました。頑張って書いた甲斐があり、12月上旬に書類審査合格の通知がありました。しかし、それから1週間強で小論文と面接の試験があるというハードなスケジュールでした。担任の先生と塾の先生に面接の練習をしてもらったり、小論文の過去問を見て同じ系統の問題をできる限り多く解いたりしました。演習をするごとに自信が付いていき、本番では緊張すること

なく解答することができました。小論文で、読んでいた参考書と同じ内容が出たり、面接でいつも授業で使っていた新聞が使われたりと、ラッキーなこともありました。

書類選考、小論文、面接は無事終えた訳ですが、そこからもまた大変でした。AO入試を受験することに備えて、センター試験、二次試験の対策はかなり早めに始めていましたが、いざセンター試験直前になり、周りがセンター一色になった時、ものすごい焦りを感じました。

AO 入試は書類 40 点、小論文 40 点、面接 20 点、センター試験 100 点という配点だったので、センター試験は一般入試と同様高い点数が必要でした。その為、点数が伸び悩んでいたときは、書類作りや小論文・面接の対策にあてていた時間が本当に惜しく、無駄だったのではないかと考えていました。しかし、今までやってきたことを信じて頑張り続けた結果、本番では今までのどの模試よりも高い点数をとることができ、合格することができました。ケ

一タイで『合格』の文字を見たときは嬉しくて涙が出るほどでした。

これから受験に向けて頑張る皆さん、本当に頑張って下さい。受験は簡単ではないです。その為に部活を我慢しなければいけないかもしれない。趣味を我慢しなければいけないかもしれない。しかし、その我慢や頑張りは必ず皆さんを強くすると思います。皆さんを夢に近づけると 생각합니다。そう希望を持って頑張って下さい。

推薦入試や AO 入試を考えて



いる方、早く取り掛かって下さい。  
私が受けたところと違って、英語  
の検定や留学経験を持っている  
ことが出願に必須のところもあり  
ます。その入試形態で合格したい  
のであれば、万全な状態で挑む  
べきですので、早く情報を集め  
て、入試形態に合わせた準備を  
始めてください。そうしたら、心に  
余裕ができて、本番でも自信を持  
って本領を発揮できると思いま  
す。健闘を祈っています。